

2. 学科プログラム報告

学科プログラム報告

「全学プログラム」や「e-ラーニング」とともに3本柱の一つである「学科プログラム」は各学科の教員主導により実施されるプログラムである。次年度の学科入学者を対象に、大学教育、特に各学科の魅力伝え学習意欲の向上を図ることを目的として、学科の特色を活かしたプログラムが提供される。

実施時期、回数は学科によって異なるが、2017年度は全学プログラム終了後、1時間程度を目安に、各学科2回以上実施された。

政治経済学科

第1回 2018年1月27日(土)

内 容： 「ガンホーの底力」

財政分析入門として、キャッシュ・フロー計算書の分析など会計学の基礎を学ぶ模擬講義を体験した。

担 当： 山田ひとみ先生

参加者： 26名

第2回 2018年3月29日(木)

内 容： 公務員プログラム&公務員アドバンスト・プログラム

公務員への就職を目指す「公務員プログラム」の紹介とともに、具体的な公務員試験受験準備について学んだ。

担 当： 渡辺英人先生

参加者： 176名

欧米文化学科

第1回 2017年12月16日(土)

内 容： クリスマス会

クリスマスのお菓子やお茶を囲み、大学生活や授業の様子などをテーマに茶話会を開催した。茶話会後には、今年の学科クリスマスイベントとして行った欧米文化学科フロアのクリスマスの飾りつけを楽しんだ。

担 当： 氏家理恵先生、畠山宗明先生

参加者： 11名

第2回 2017年1月27日(土)

内 容： 欧米文化学科の茶話会

先生方や先輩を囲み、サークル活動や大学生活について茶話会を開催した。

担 当： 島田由紀先生、畠山宗明先生、村瀬天出夫先生

参加者： 12名

児童学科

第1回 2017年11月25日（土）

内 容： 「木の実アート」&先輩たちと話そう

台座に木の実をのせてバッチやキーホルダーを作成する「木の実アート」を保育・教育教材研究の事例として体験。先輩たちとの交流を楽しみながら、大学生生活の様子を学んだ。

担 当： 寺崎恵子先生

参 加 者： 22名

第2回 2017年12月16日（土）

内 容： 児童学科のクリスマス会

先輩たちによる KAPLA（積木）のクリスマスツリーが置かれた会場。先輩たちからレクリエーションゲームが紹介され、体験した。また、資格取得に向けた学びについて話を聞く時間が持たれた。

担 当： 寺崎恵子先生

参 加 者： 18名

第3回 2018年1月27日（土）

内 容： 児童学科の交流会

新年度から保育職・教職に就く4年生たちが構成したプログラム。お手製のウェルカム・ボード、クラス作りに活かせるゲーム、幼児と楽しめる折り紙製作など、大学で学ぶ内容が体験・実感を通して伝えられた。

担 当： 寺崎恵子先生

参 加 者： 13名

日本文化学科

第1回 2018年1月27日（土）

内 容： 学科紹介&4年後の自分へ

日本文化学会学生会の活動や学科行事について、先輩たちによる学科紹介プレゼンと、4年後の自分に宛てた手紙を作成するプログラムが行われた。

担 当： 村松晋先生

参 加 者： 25名

第2回 2018年3月29日（木）

内 容： どんな4年間を創りますか？

先生方より、入学式から始まる大学生活について、4年間をどのように過ごすかをテーマに話がなされ、NSOではその基本となる様々なことを知ることができるということが伝えられた。

担 当： 村松晋先生、横山寿世理先生

参 加 者： 93名

心理福祉学科

第1回 2018年1月27日(土)

内 容： 心理学ワーク体験

心理学に基づく線と色を使ったワークを体験した。2名1組でお互いが最後に塗る色を予想するもの。ゲーム感覚の中、心理学に触れるプログラム。

担 当： 藤掛明先生、長谷部雅美先生

参 加 者： 38名

第2回 2018年3月29日(木)

内 容： 心理学の学び

集中力テスト体験を通じて、心理学用語の紹介や、「心理学とはなにか」について学ぶ参加型講義形式のプログラムとなった。

担 当： 大橋良枝先生、中原純先生

参 加 者： 119名